「祖」印の赤襷でもっと元気に

元気一杯新聞

07.9.NO 125
発行 高岡町地域
発行者 0883-88-5292

安心して祖谷で暮らす宣言ともいえる「赤襷運動」は、着実に広がっています。軒下に赤い襷がひるがえっていると本当に元気がもらえます。

自信と誇りをもって、もっともっと祖谷中に赤い襷をたてましょう。

まだ、はじめたばかりの赤襷運動ですが、マスコミに多くとりあげられています。新聞では、徳島新聞に載ってから、高知新聞、北日本新聞、中国新聞、読売新聞徳島版と東京本社からもカメラマンが来村く、夕刊に予定、サンケイ新聞も電話に2取材があったり、NHKラジオ夕刊も電話に2出演、そして、テレビ東京では、夕方の「速ホウ」というニュースの中で放送されたりと、この件、ものすごい反応にビックリしています。

その反面、祖谷の中では、まだまだ関心度は低いというより、必要性、重要性が不足しているのかなあとおもったりもします。

一人ぐらしやお年寄りの二人ぐらしが安心して生きていく為には、お互いに支えあって生きていく事が大切です。また、お年寄りでもなくても、赤い襷を立てて、「私とこ気だて宣言」を行動で表現することで、祖谷全体が活気のある地区になりますので、多くの皆さんが参加されることが望まれます。

また、祖谷村の祖は、今治の山本さんからの便りでは、イギリスまで持って旅行く、写真を送って頂きました。世界をめぐっているとなると、これはまたすごい事です。

そこで、またご提案です。全国各地の日本人！、祖谷村村民宣言のステッカーを張ってまりませんか？、そうすれば、自分の住む県で「村民発見！」で交流がでてきますよ。

今治市、山本さん　イギリスにて（沼津地方）

村民いっきに100名

八月には、千葉から村民の斉藤さんが友達と共に来村、福岡からはアイさんが来村、そして、香川の登山のグループ、新世紀の村民の皆さんが、天狗塚登山、いやの温泉、そして竜宮荘でテーブル泊でバラバラ焼きの夕食と祖谷を満喫して頂きました。

その上、当日登山に参加していた人のほとんどの皆さんが、活動祖谷村の村民になっていただきました。

申し込みの用紙の厚さにびっくり、早急に録の「村民証」を作らなければいけなくなり嬉しい限りです。

村民も一気に一九〇名を越える事になり、二〇〇名になるのも時間の問題です。

斉藤さんを来村とに村民になって頂きました。

ほんとうにありがとうございました。